

静岡

過疎化に苦しむ「地方」は、少子高齢化先進国日本の将来像かもしれない。人口減少を食い止めるには、定住人口を増やすに限るが、そう簡単なことではない。

交流人口を増やし、定住人口の増加に結び付ける起爆剤として、日本全国各地で様々なイベントが実施されている。中でもスポーツイベントと文化イベントが多い。「地方文化の創造」と「集客」がセットでついでくるのが文化イベントだ。文化コンテンツメディアの経済規模から推察すると、6年ほど前のデータだが、音楽コンサート市場規模は1,600億円、映画関連市場規模は4,400億円、美術館・芸術祭市場規模は550億円と「映画」には大きな需要があるのがわかる。文化イベントなら「映画祭」の方程式が成り立つ。

先例はカンヌだ。1946年にスタートしたカンヌ映画祭。世界大戦前はニース、モンテカルロにはさまれ

た寒村だったカンヌは、映画祭、映画とテレビの見本市が開催される。世界中のメディア関係者やオピニオンリーダーが毎年カンヌに来るので、否が応でも有名になる。その甲斐あって世界有数の観光地に発展した。熱海は海や山に囲まれ、どこかカンヌを思わせる。熱海は理想的な映画祭の開催地である。富士山、芸者がそろった熱海で本格的な映画祭を行えば、海外映画関係者やインバウンド客に日本をアピールできる。

映画祭とは何か、と問われれば「映画祭とは予算やコネに恵まれない独立系映画製作者が世に出るための仕掛け、通らなければならない「登竜門」である。」と言えよう。ルーカスもタランティーノも入江悠も映画祭で名をあげた。一方、大手の映画会社が制作した大予算映画は、映画祭のコンペ部門には出品されない。黙っていても、全国の劇場で上映され、テレビにも出るからである。

映画祭が独立系製作者の登竜門とすれば、あなたが映画製作者なら、熱海国際映画祭に出品することをお勧めする。この映画祭で賞を取ると、イオンシネマで2週間上映され、スカパーで放送され、ANA国際線でも上映される。また、提携する釜山国際映画祭やECUヨーロッパ映画祭で上映作品に選ばれる。才能に光を当てる仕掛けが用意されているのだ。熱海国際映画祭は、新しい才能を日本に世界に、広く世に出す設計になっている。

監督デビューは「熱海国際映画祭」で



「熱海市街」水谷カメラ 熱海城から

熱海国際映画祭概要

キャッチフレーズ

「才能に光を！」“Bringing New Talent to Light!”

第一回熱海国際映画祭 2018年6月28日～7月1日

- ・6/28(木) 17時 招待者レセプション会場入場 (redカーペット)
プレス取材 (スカパーから生放送用中継車)
18時 招待映画監督、出演者舞台挨拶&上映会
20時 オープニングコンサート&カクテルパーティ
- ・6/29(金) 10時から上映会、19時～ 韓流映画上映、
主演スターコンサート
- ・6/30(土) セミナー、ワークショップ、フィルムマーケット、
映画音楽コンサート
- ・7/1(日) 10時から上映会、審査会
18時から受賞作発表、記者会見

熱海国際映画祭実行委員会